秋田歴研協 市民公開講座 春の発表会

大名家の婚姻は幕府の統制と密接に関わる重要な政治的要素の一つでありました。江戸時代の大名家において、婚姻は幕府の許可制のもとで管理されていました。江戸時代初期には将軍の意向に沿った形で婚姻関係が形成されていったといいます。しかし、幕藩関係が安定してきた江戸時代中期頃には将軍が婚姻に関わることも減り、大名家が幕府に縁組願を提出して許可を得る方式へと変わるなど、時代の変遷に伴い、婚姻の仕組みにも変化が生じました。（秋田大学 HP より抜粋）

では、秋田藩佐竹家の場合、歴代藩主はどの大名家と婚姻関係を結び、そこにどのような政治的背景があったのでしょうか？　また、大名家の女性の地位や役割、妻妾制度についても、改めて考えてみたいと思います。講師としてお迎えするのは、秋田大学教育文化学部准教授の清水翔太郎先生。どなたでも参加できますので、皆さまお誘い合わせの上、どうぞお気軽にお越しください。

■日　時　**6月20日（土）午後1時30分～**

■会　場　**秋田拠点センターアルヴェ　4F 洋室C**（秋田駅隣接）

■主　催　**秋田県歴史研究者・研究団体協議会**（秋田歴研協）

■演　題　**秋田藩佐竹家の婚姻関係**

■発表者　秋田大学教育文化学部 准教授　**清水 翔太郎** 氏

■資料代　300円　※会員以外の参加も歓迎します。事前の申し込みは必要ありません。

問い合せ先：事務局　〒010-0811　秋田市泉釜ノ町16－5　担当：渡辺　修
TEL　070-6625-4000　E-mail：fw190d9@cna.ne.jp